

| | |
|-----------------|---|
| 基準 2 | 学修と教授 |
| 基準項目 | 2-1 学生の受入れ |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-1 を満たしていない。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-1-① 入学者受入れの方針の明確化と周知 本学は、教育の基本方針を基に、大学及び各学部・学科について入学者受入れの方針（以下「アドミッションポリシー」という。）を定めている。 また、アドミッションポリシーについては、「大学案内」「入学試験要項」「大学ウェブサイト」に明示するとともに、進学説明会、教職員による高校訪問、オープンキャンパス等の機会を利用して周知している。</p> <p>2-1-② 入学者受入れの方針に沿った学生受入れ方法の工夫 学生受け入れ方法については、「学生募集・入試制度検討委員会」及び各学科会議において選考方法等を検討し、大学運営会議で審議している。 入学試験の種別は、入学者の選考方法を多様化させることによって、受験選択肢を広げ、多様な学生の受け入れに努めている。 アドミッションポリシーに基づいた入学者選抜を行なうため、面接試験においては学科のアドミッションポリシーに基づいた質問を用意して実施している。学力試験においても高等学校の調査書の活用やセンター試験利用入試における学科別の指定科目を設定するなど、アドミッションポリシーに基づいた入学者選抜を行なっている。 また、平成 29 年度には、「未来創造フォーラム」を開催し、タグライン（本学の教育に込めた思い）の開発やオープンキャンパスのコンセプト設定と内容充実を図った。 さらに、出願方法、入学手続方法については、平成 29 年度入学試験よりインターネット方式を導入しており、受験生等の利便性を高め、社会的ニーズに応じた体制を整えている。 入試問題の作成については、学内の教員を中心に構成される作問委員により作成している。</p> <p>2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受け入れ数の維持 本項については、平成 28 年度の認証評価受審結果の中で、改善を要する点として、「健康科学部栄養マネジメント学科、生涯福祉学部社会福祉学科及びこども福祉学科の収容定員充足率が 0.7 倍未満であり、改善が必要である。」と指摘されている。 その後、学科の取り組みの情報発信（学科主導の恒常的な大学ウェブサイトの更新）やオープンキャンパスの企画充実など、様々な策を講じた結果、社会福祉学科、こども福祉学科については、収容定員充足率を回復することに成功している。（平成 30 年 5 月 1 日現在で社会福祉学科は 80.0%、こども福祉学科は 79.0%） 栄養マネジメント学科については、単年度の入学者数は増加してきているが、収容定員充足率が依然として 0.7 倍未満であるため、継続して改善を要する。 また、同評価結果において参考意見として指摘された現代ビジネス学科の収容定員充足率についても 0.7 倍未満であるため、抜本的な改善を要する。</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>改善・向上方策 (将来計画)</p> | <p>上記のとおり本学にとって入学定員確保（収容定員充足率の回復）は喫緊の課題であり、その改善のため、様々な活動を行っている。 特に現代ビジネス学部においては厳しい状況であり、その大きな要因である知名度の低さをアップさせるため、以下の取組みを重点的に実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の上がる教員の高校訪問、学生、特に優秀学生の母校訪問 ・NewsLetter、Twitter、Facebook、大学 HP、現ビズ Topics(新)による広報活動 ・アカデミックセミナー、ビジネスプランコンペ、1 Day Business Trip 等のイベント開催と集客対策 <p>また、栄養マネジメント学科についても、継続的な入学者増加を目指し、学生募集活動の拡充を図っていく。</p> |
| <p>根拠となる資料 (エビデンス)</p> | <p>兵庫大学大学案内</p> <hr/> <p>兵庫大学入学試験要項</p> <hr/> <p>兵庫大学公式ウェブサイト「教育の基本方針」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html</p> <hr/> <p>兵庫大学公式ウェブサイト「シンボルマーク・学歌」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/symbol.html</p> <hr/> <p>学生募集・入試制度検討委員会規程</p> |

| | |
|--------------------|--|
| 基準項目 | 2-2 教育課程及び教授方法 |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-2 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-2-① 教育目的を踏まえた教育課程編成方針の明確化 大学全体の教育目的を踏まえた教育課程編成方針(カリキュラムポリシー、以下、「CP」という。)のもと、研究科及び学部・学科の CP を明確にしている。これらの CP については、学生に配付する「授業計画(シラバス)」に掲載するとともに「大学ウェブサイト」にも掲載している。 また、「授業計画(シラバス)」には、カリキュラムマップを掲載し、各学科の学位授与方針に基づいて身につけるべき能力と各授業科目がどのように関連するのかを明示している。 加えて、単位制度の趣旨を踏まえ、各学科において履修登録単位数の上限を設定している。この履修登録単位数の上限については、各学部履修規程に定められており、全学生に配付する「学生便覧(キャンパスガイド)」に明示している。</p> <p>2-2-② 教育課程編成方針に沿った教育課程の体系的編成及び教授方法の工夫・開発 教育課程の体系的編成については、前述のカリキュラムマップだけでなく、学修内容を体系的・段階的に理解できるよう、科目間の履修系統を「カリキュラムツリー」「ナンバリング」で表している。 また、教授方法の工夫・開発については、授業公開により教員が相互に授業参観し合う機会を設けるとともに、学生の能動的・主体的な学修を推進するためアクティブ・ラーニング事例発表会により、学科を超えて授業方法の改善に向けた FD (Faculty Development) 研修を行なっている。 加えて、授業改善の風土づくりとして、大学全体での教職員の交流、コミュニケーション促進を目的として、授業方法や学生理解についてのテーマを中心としたワークショップを行なう「教職員カフェ」を、平成 27 (2015) 年度の「教員カフェ」より継続して実施している。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | <p>上記内容をさらに充実させるため、以下の取組みを実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コアカリキュラムを中心としたルーブリックの策定と実施 ・三つのポリシーに基づいて実施する、科目レベル、教育課程レベル、全学レベルの教育目標の達成状況の検証及び教育成果の可視化。 (教学アセスメントに基づく学修成果の評価) |
| 根拠となる資料 (エビデンス) | <p>兵庫大学公式ウェブサイト「教育の基本方針」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html</p> <p>兵庫大学公式ウェブサイト「シラバス」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/syllabus.html</p> |

| | |
|--------------------|--|
| 基準項目 | 2-3 学修及び授業の支援 |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-3 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-3-① 教員と職員の協働並びに TA(Teaching Assistant)等の活用による学修支援及び授業支援の充実</p> <p>各学科に演習担当者・チューター(学科により名称・形態が異なる)を配置し、学生の学修状況等を把握しながら必要に応じ指導等を行なっている。</p> <p>また、「学習支援センター」では専門の職員がいつでも学修個別相談や指導を行なうほか、学力向上のための基礎講座を開設するなどの学修支援を行なっている。</p> <p>さらに、自主学習環境として、アクティブ・ラーニング環境を整備し、電子黒板などの機器を備えそれらを学生が自由に利用できるようにしている。</p> <p>その他、「健康管理センター」においては、専門の職員が演習担当者・チューターまたは学生支援課と連携しながら、さまざまな相談や心身の健康問題等に関する支援を行なっている。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | <p>多様な学修履歴をもつ学生を受け入れている本学において、特に学力が不足した学生に対する学修・授業支援の充実は欠かせない。今後も引き続き、各学科でのきめ細かな学修指導、学科教育と連動した学習支援センターでの個別指導の充実など、学修支援・授業支援体制を整備していく。</p> <p>また、中途退学者を減少させ、一人でも多くの学生を卒業へ導けるよう、学業不振の原因となる基礎学力不足、進路・適性へのミスマッチに悩む学生への相談・支援体制の強化に加え、発達障がいの疑いのある学生や心の悩みを抱える学生についても、各学科、教学部、健康管理センターが相互に連携してきめ細かな支援体制の充実を図っていく。</p> |
| 根拠となる資料 (エビデンス) | <p>兵庫大学公式ウェブサイト「学習支援センター」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/learn/</p> <p>兵庫大学公式ウェブサイト「健康管理センター」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/kankyo/kenkou_kanri.html</p> |

| | |
|--------------------|---|
| 基準項目 | 2-4 単位認定、卒業・修了認定等 |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-4 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-4-① 単位認定、進級及び卒業・修了認定等の基準の明確化とその厳正な適用</p> <p>単位認定及び成績評価については、学則等で定め、「授業計画（シラバス）」に当該授業科目における「到達目標」と「成績評価の方法」を明示している。</p> <p>なお、学生が本学入学前に他大学、短期大学等で修得した単位については、申請があった授業科目について、教務委員会及び教授会の議を経て、学長が当該単位の認定を行なっている。既修得単位数の上限は、編入学及び再入学の場合を除き、60 単位を超えない範囲と学則で定めており、認定された授業科目の成績評価に関する評語は「認定」としている。</p> <p>また、進級及び卒業要件については、各学部履修規程に定められており、全学生に配付する「学生便覧（キャンパスガイド）」に明示している。進級判定は2年終了時に教務委員会及び教授会の議を経て学長が決定する。卒業認定及び学位授与は、在学期間及び卒業要件単位を充足した者について、教務委員会及び教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位規程に定める学士の学位を授与する。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | 今後についても、社会状況の変化を鑑みながら、学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連等について、各学部・学科並びに教学部において、逐次点検を行ない必要に応じて改善・向上を図っていく。 |
| 根拠となる資料 (エビデンス) | <p>兵庫大学公式ウェブサイト「シラバス」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/syllabus.html</p> <hr/> <p>学生便覧（キャンパスガイド）</p> |

| | |
|--------------------|---|
| 基準項目 | 2-5 キャリアガイダンス |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-5 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-5-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する指導のための体制の整備</p> <p>本学では、「個性豊かな人間性の涵養」と「有為な人材の養成」を教育目標として掲げ、生涯を通じた持続的な就業力の育成と専門職業人の育成をめざし、教育課程内外を通じて社会的・職業的自立に向けたキャリア教育、進路支援を行なっている。</p> <p>また、学生の就職及び進学に関する事項やキャリア支援に関する事項を協議する全学的な体制として、教学部長を委員長とする「就職推進委員会」を設置している。本委員会は、学長が委嘱する各学科の教員各1人と、教学部事務部長、教学部次長及び学生支援課長で構成され、隔月で1回定例会議を開催している。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | <p>本学の就職率・就職希望率はともに全国平均と比較して、極めて高い値で推移している。教学部学生支援課では、今後も各学部・学科等と連携しながら、高い就職率と高い就職希望率を維持し、「就職に強い大学」として確立していけるよう支援を展開していく。</p> |
| 根拠となる資料 (エビデンス) | <p>兵庫大学公式ウェブサイト「就職状況」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/career/result.html</p> <hr/> <p>就職推進委員会規程</p> |

| | |
|--------------------|---|
| 基準項目 | 2-6 教育目的の達成状況の評価とフィードバック |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-6 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-6-① 教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫・開発 各学科とも教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマポリシー）を定めている。本学では、この学位授与方針に基づいて身につける能力を具現化した「カリキュラムマップ」を作成しシラバスに記載している。その授業科目を履修することで、学生はどのような力を身につけることができるのかを示しており、各授業科目担当者は、教育課程の中で担当科目がどのような役割を持っているのかを理解しながらシラバスを作成している。また、各授業科目担当者から提出されたシラバスについては、各学科において内容等を確認し、教育目的と齟齬がないように点検を行なっている。</p> <p>2-6-② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての評価結果のフィードバック 教育目的の達成状況を点検・評価する取り組みとしては、各学期末に、開講した全授業科目の担当教員（兼任教員を含む）を対象に実施する「授業アンケート」を行なっている。その結果は、担当教員にフィードバックし、担当科目の授業改善に反映させている。 短期大学部では、教育目的の達成状況の評価とフィードバックについては、「授業アンケート」や「ふりかえりシート」をもとに学生の学修状況を把握し、卒業判定や、免許・資格取得結果、就職状況結果等を通じて、その達成状況を把握するとともに、その改善に努めている。 その他、学生の学習状況の各学期の成績発表時には、学生個人に対し、演習担任者・チューター等から「成績通知書」を配付するとともに面談を行なうことで学生の授業理解度等を把握している。 資格取得状況については、学生が提出する「進路登録カード」において学生の希望する資格を把握し、卒業式において、免許・資格取得者等の報告を行なっている。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | <p>今までは、授業評価アンケートを実施するものの、その結果の公表のみにとどまり、結果の活用までは至っていなかった。 授業評価アンケート項目及びその結果の活用については、引き続きFD・SD オフィス等において検討を行う必要がある。</p> |
| 根拠となる資料 (エビデンス) | <p>兵庫大学公式ウェブサイト「教育の基本方針」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html</p> <p>兵庫大学公式ウェブサイト「シラバス」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/syllabus.html</p> |

| | |
|-------------------|--|
| 基準項目 | 2-7 学生サービス |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-7 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-7-① 学生生活の安定のための支援</p> <p>本学では、教学部学生支援課、学習支援センター、健康管理センターが中心となり、各学科や学科の担任等チューターと連携するとともに、各組織が所管する「学生委員会」、「学修基盤センター運営委員会」、「健康管理センター運営委員会」の組織が相互に連携しながら、学生生活の安定のための支援、厚生補導を行なっている。</p> <p>学生に対する経済的支援に関しては、それぞれの事情を確認した後、日本学生支援機構奨学金や本学独自の奨学金、公的機関の奨学金、教育ローンなどを紹介している。</p> <p>また、学生の通学における利便性向上のため、大学の最寄駅から大学を往復する無料送迎バス（スクールバス）を運行している。（利用申請時に、利用許可証発行手数料として 500 円必要）</p> <p>さらに、学生に対する健康管理、相談・心的支援については、健康管理センターが中心となり対応している。健康管理センターには医師及び専門の職員（医師 2 人、看護師 2 人、資格をもったカウンセラー 2 人、非常勤カウンセラー 3 人、契約職員 1 人）を配置し、心身の健康管理、相談を行なっている。</p> <p>その他、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、ジェンダー・ハラスメント、モラル・ハラスメントの対策については、学内に相談員を配置し、適宜相談を受け付け対応できる体制を整えている。</p> <hr/> <p>2-7-② 学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用</p> <p>学生サービスに対する学生の意見等を汲み上げるシステムについては、教学部の各課並びに学習支援センターでの窓口対応の他に、学生が大学に対するさまざまな意見・要望を提出し、解決するための協議機関として、「明日の兵庫大学・兵庫大学短期大学部を考える会」がある。この会は、教育運営や課外活動等をテーマにして、大学側の代表者らに直接意見・要望が伝えられる機会となっている。授業の改善、学生生活の充実、施設設備の改善等について、学生から出された意見・要望に対しては、大学側の考え方や対応等をその場で回答するとともに、改善できるものについては、速やかに対応することを心がけている。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | <p>学生生活の充実、大学運営の向上に役立てるため、今後も引き続き、学生の生活状況や意識の実態を調査し、学生が抱えている問題や悩み・不満などを大学組織全体として把握し、支援体制の検討や改善を行なっていく。</p> |

| | |
|--------------------|---|
| 根拠となる資料 (エビデンス) | 兵庫大学公式ウェブサイト「学生生活」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/campus/ |
| | 兵庫大学公式ウェブサイト「交通アクセス」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/access.html |
| | 兵庫大学公式ウェブサイト「健康管理センター」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/kankyo/kenkou_kanri.html |
| | 学生委員会規程 |
| | 学修基盤センター運営委員会規程 |
| | 健康管理センター運営委員会規程 |

| | |
|-----------------|---|
| 基準項目 | 2-8 教員の配置・職能開発等 |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-8 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-8-① 教育目的及び教育課程に即した教員の確保と配置 本学は、大学設置基準上の必要専任教員数及び教授（大学院においては研究指導教員）数を確保している。 なお、大学院の教員については、学士課程教育と修士課程教育の接続の観点から、大学の専任教員の中から、学内での資格審査を経てこれを兼務としている。 また、「教職課程認定基準」「管理栄養士学校指定規則」「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」「指定保育士養成施設指定基準」における必要専任教員数を、いずれも確保している。</p> <p>2-8-② 教員の採用・昇任等、教員評価、研修、FD(Faculty Development)をはじめとする教員の資質・能力向上への取り組み 教員の採用・昇任については、「兵庫大学専任教育職員選考規程」に、教授、准教授、専任講師、助教、助手の選考基準が明示されている。 また、「兵庫大学等任期を定めて任用する教員に関する規則」を制定し、任期を定めて任用する教員の採用を実施している。 さらに、「兵庫大学等特別任用教員規則」を制定し、本学の教育方針に賛同し教育研究遂行上または講義編成上特に必要とする者を特別任用教員として採用している。 採用・昇任の具体的手続きについては、「兵庫大学専任教育職員選考実施取扱要領」及び「兵庫大学専任教育職員採用の手続きについて」に規定している。 その他、昇任候補者の選出については、「兵庫大学専任教職員の昇任候補者選出に関する内規」を規定している。 教員の資質・能力向上への取り組みとしては、「授業アンケート」を実施している。この「授業アンケート」は各学期末に開講した全授業科目を対象に実施しており、その結果については担当教員へのフィードバック及び「大学ウェブサイト」への掲載を行なっている。 加えて、「教員評価制度」を実施している。この「教員評価制度」は各年度を評価対象期間とし、教育の領域では実施したすべての授業科目の振り返りを行なうとともに、研究の領域、組織運営の領域、社会貢献の領域について教員個々が所定の「個人評価調査票」を作成し、自己評価を行なっている。評価結果については、全体の集計結果を公表し、教員個々に対して、それぞれの所属学部長から、文書でフィードバックしている。また、教員評価結果を反映した処遇については、賞与に加算している。 FD 活動については、「兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD 推進委員会」を中心として全学の教育の質の向上をめざした取り組みを実施している。 その活動の一環として、新任教職員を対象に、「新任教職員研修」を実施し、建学の精神の説明、教育分野及び研究分野、地域貢献分野に係る本学の方針及び施策に関する理解を深める機会としている。 その他、アクティブ・ラーニング推進の取り組み（講演会、研修会、事例発表会）や、「授業公開」、教職員間の情報共有・交流を促進し、組織を活性化することをめざした「教職員カフェ」等も実施している。</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>2-8-③ 教養教育実施のための体制の整備</p> <p>教養教育の充実を目的とし、平成 28 (2016) 年 4 月に専任教員で構成される「共通教育機構」を設置し、機構では学長の方針を受け、大学全体の教養教育のあり方についての検討、カリキュラムの編成、科目の運営などの役割を中心的に担っている。教養教育のための科目として共通教育科目を設定し、それらを「建学の精神」、「コミュニケーション」、「国際理解」、「歴史と文化」、「地域に学ぶ」、「現代社会を読み解く」、「自然と科学」、「くらしと健康」、「キャリアデザイン」の 9 つの群に分類し運営している。また、専門教育との有機的連携を図るため、副学長（教育担当）を委員長に、共通教育機構長、各学科長、教学部長、教学部事務部長、教学部次長で構成されている「学科長会議」を通して、専門教育を担う教員とカリキュラム編成にかかる意見交換を行なっている。</p> |
| <p>改善・向上方策 (将来計画)</p> | <p>専任教員数については、現在の適切な状態を維持し、さらに充実を図る。また、教員新規採用時には教員構成のバランスを考慮しながら教員配置を行なうように進める。</p> <p>教員の採用・昇任については、教育環境等の変化に伴い、研究業績や教育業績のみならず、社会活動等の業績を考慮し資格審査を行なっていく必要がある。</p> <p>学内の FD 活動については、これまでは兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD 推進委員会が中心となって検討・実施してきたが、今後は平成 30 (2018) 年 4 月より設置される「FD・SD オフィス」を中心とし、さらに充実した内容、質の向上を図る・</p> <p>「教員評価制度」は、導入時の平成 16 (2008) 年度から 2 回の見直しを行い一部変更した内容で実施しているが、改善点も多く、抜本的な改正をめざす。</p> |
| <p>根拠となる資料 (エビデンス)</p> | <p>兵庫大学公式ウェブサイト「教育情報（平成 29 年度）」 http://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/ichiran_29.html</p> <p>兵庫大学専任教員選考規程</p> <p>兵庫大学等任期を定めて任用する教員に関する規則</p> <p>兵庫大学等特別任用教員規則</p> <p>兵庫大学専任教員選考実施取扱要領</p> <p>兵庫大学専任教員採用の手続きについて</p> <p>兵庫大学専任教員員の昇任候補者選出に関する内規</p> <p>授業アンケート集計結果 http://web.lab.hyogo-dai.ac.jp/tenken/</p> <p>兵庫大学・兵庫大学短期大学部 FD・SD 推進委員会規程</p> <p>教員評価制度（平成 29 年 4 月改正）</p> |

| | |
|-------------------|--|
| 基準項目 | 2-9 教育環境の整備 |
| 評価結果 (自己判定) | 基準項目 2-9 を満たしている。 |
| 判定理由 (事実の説明) | <p>2-9-① 校地、校舎、設備、実習施設、図書館等の教育環境の整備と適切な運営・管理</p> <p>本学の校地及び校舎については、校地面積は加古川キャンパスに大学と短期大学部との共用として 83,565 m²あり、設置基準上必要とされる面積 16,100 m²を満たしている。</p> <p>また、校舎面積は、大学専用として 6,861 m²、短期大学部専用として 2,310 m²、共用として 21,888 m²あり、設置基準上必要とされる面積（大学は 13,134 m²、短期大学部は 3,470 m²）を満たしている。</p> <p>加えて、教育目的を達成するために、講義室、演習室、学生自習室、学部の学生用実験室、実習室及びその他の施設を整備し、教育研究に有効に活用している。</p> <p>施設の維持、管理等に関する業務は、事務局管理課が行なっており、建築、設備等の専門的な技術・知識をもつ経験豊かな職員を配置するとともに、建物、電気設備、給排水・衛生設備、空調設備、消防設備、昇降機などの保守点検業務並びに警備業務、樹木等植栽の維持管理、清掃業務を専門業者に委託し、管理統括している。</p> <p>防火対策については、管理課及び管理職職員による防火及び防災管理者講習会への参加及び管理者資格の取得等を通して、防火及び防災に関する情報・知識を学び、「防災管理規程」に基づき対応している。</p> <p>2-9-② 授業を行なう学生数の適切な管理</p> <p>1 授業科目あたりのクラスサイズ（人数）については、履修登録者人数を踏まえ、可能な限り教育効果に配慮した教室配当を行なっている。</p> <p>なお、栄養マネジメント学科においては、栄養士法施行規則において、栄養士養成に係る授業科目については、おおむね 40 人であることと規定されているので、それに従いクラス編成を行なっている。同様に、こども福祉学科、保育科においては、児童福祉法施行規則に、保育士養成にかかる授業科目については 50 人以下であることと規定されているので、それに従いクラス編成を行なっている。</p> <p>看護学科においては、教育的見地から講義科目であっても 2 クラス編成で授業を実施している。</p> |
| 改善・向上方策 (将来計画) | <p>良好なキャンパス環境の形成を図るため、教育研究活動に支障をきたさないよう既存施設及び設備の整備を段階的に実施していくとともに、教育研究の将来構想を踏まえためすべきキャンパス像を具現化するため、中長期的な事業計画を進める。</p> <p>学生寮については、老朽化が進んでいるところもあるため、状況に応じて随時修繕を行ないながら、寮生が快適な生活を送れるよう整備していく。</p> <p>また、寮生と学生支援課担当者がコミュニケーションを図りながら、学生寮に関する意見・要望を汲み上げ、寮生が満足のいく学生生活を過ごせるよう、施設、設備における改修や充実を図っていく。</p> <p>バリアフリー化については、今後も未整備の箇所について順次計画的に整備を進めていく。</p> |

| | |
|--------------------|--|
| 根拠となる資料 (エビデンス) | 兵庫大学公式ウェブサイト「兵庫大学附属図書館」 http://library.hyogo-dai.ac.jp/ |
| | コンピュータの整備状況 |
| | 学内 LAN 配線図 |
| | 兵庫大学等防災管理規程 |
| | 兵庫大学等構内自動車等交通規制実施要領 |
| | 薬品類の取り扱い、管理及び廃棄等に関する規程 |

| | |
|----------------|---|
| 基準 2 の 自己評価 | <p>本学は、教育課程及び教授方法、学修及び授業の支援、単位認定、卒業認定、キャリアガイダンス、教育目的の達成状況の評価とフィードバック、学生サービス、教員の配置・職能開発、教育環境の整備については、諸規程を整備し、そのルールに基づいて適切に運用されている。</p> <p>また、実施された諸活動について、その達成状況や点検・評価を適切に行うための諸規程の整備をはじめとする体制が構築されている。</p> <p>しかしながら、学生の受入れに関しては、平成 28 年度の認証評価結果からの指摘事項（改善を要する点、参考意見）についての改善が完了しておらず、栄養マネジメント学科の収容定員が 0.7 倍を満たしていない状況である。</p> <p>このことは、本学としても喫緊の課題であると重く受け止めており、学生募集のさらなる強化、加速化を図る。</p> <p>以上のことから、基準 2 を概ね満たしていると自己評価し、以下の点を指摘事項とする。</p> <p>【改善を要する点】 ○健康科学部栄養マネジメント学科収容定員充足率が 0.7 倍未満であり、改善が必要である。</p> <p>【参考意見】 ○現代ビジネス学部現代ビジネス学科については、平成 28 (2016) 年開設であるため、完成年度を迎えていないが、収容定員充足状況に向けた取組みが必要である。</p> |
|----------------|---|